

野菜の生育状況及び価格見通し（平成28年12月）について（東京都中央卸売市場）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	だいこんは、9月中下旬の降雨による湿害に伴い、初期生育不良となったものの、生育は回復傾向。 にんじんは、8月下旬の台風による降雨に伴い、欠株が発生し、発芽不良となった。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	はくさい、キャベツ及びねぎの生育は平年並み。 ほうれんそうは、9月中下旬の降雨により播種が遅延し、10月上旬の日照不足や11月上旬の低温により生育不良となったものの、生育は回復傾向。 レタスは、10月上旬の高温により生育不良となったものの、生育は回復傾向。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	きゅうり、なす及びピーマンは、9月以降の日照不足による樹勢低下からの回復が遅れ、着果数量が減少したものの、生育は回復傾向。 トマトは、10月下旬の日照不足により、着果数量が減少したものの、生育は回復傾向。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	ばれいしょは、北海道での6月の長雨や8月の台風に加えて、後続の産地である長崎県での9～10月の長雨による湿害に伴い、肥大が抑制され、小玉傾向。 さといもの生育は平年並み。 たまねぎは貯蔵ものの出荷期間。

（各論）

品 目	主産地 ※（ ）書きは 27年12月の 入荷シェア	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			12月前半	12月後半
だ い こ ん	千葉(48%) 神奈川(46%)	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県及び神奈川県での9月中下旬の降雨による湿害に伴う初期生育不良のため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 12月出荷分の生育は平年並みであるため、<u>12月の出荷数量及び価格は平年並みに回復する見込み。</u> 	平年並みに回復	平年並みで推移
に ん じ ん	千葉(85%)	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県での8月下旬の台風による降雨に伴う欠株の発生や、発芽不良のため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 これらの影響が残るため、<u>12月も出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準で推移	高値水準で推移

はくさい	茨城(93%)	<ul style="list-style-type: none"> 他の野菜の高値傾向により、代替需要が増加し、小売業者等による引き合いが強まったため、11月の価格は平年を上回って推移。 茨城県での生育が平年並みであり、他の野菜の高値傾向が解消され、需要が落ち着く見込みであるため、12月の価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
キャベツ	愛知(43%) 千葉(37%)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県での10月上旬の高温による生育不良に加えて、他の野菜の高値傾向により代替需要が増加し、小売業者等による引き合いが強まったため、11月の価格は平年を上回って推移。 愛知県及び千葉県での生育が平年並みであり、他の野菜の高値傾向が解消され、需要が落ち着く見込みであるため、12月の価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
ほうれんそう	群馬(34%) 茨城(24%) 千葉(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県での9月中下旬の降雨による播種遅延や、10月上旬の日照不足、11月上旬の低温による生育不良のため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 12月出荷分の生育は平年並みであるため、12月の出荷数量及び価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
ねぎ	千葉(25%) 埼玉(16%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 青森県での9月の日照不足による肥大不足のため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 後続の産地である千葉県、埼玉県及び茨城県での生育が平年並みであるため、12月の出荷数量並びに価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
レタス	静岡(37%) 茨城(14%) 兵庫(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県での10月上旬の高温による生育不良のため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 静岡県、茨城県及び兵庫県での12月出荷分の生育は平年並みであるため、12月の出荷数量並びに価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
きゅうり	宮崎(34%) 千葉(18%) 高知(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県、群馬県等での9月中旬以降の日照不足による樹勢低下からの回復が遅れ、着果数量が減少したため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 後続の産地である宮崎県、千葉県及び高知県での生育が平年並みであるため、12月の出荷数量並びに価格は平年並みに回復する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移

なす	高知(61%) 福岡(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 高知県及び福岡県での9月以降の日照不足による樹勢低下からの回復が遅れ、着果数量が減少したため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 11月上旬以降の天候の回復により、<u>生育が平年並みに回復</u>したため、<u>12月の出荷数量及び価格は平年並みに回復</u>する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
トマト	熊本(47%) 愛知(17%) 栃木(11%)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県、千葉県等での9月以降の日照不足による樹勢低下からの回復が遅れ、着果数量が減少したため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 熊本県及び愛知県での10月下旬の日照不足による着果数量の減少のため、<u>12月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u> 11月上旬以降の天候の回復により、<u>生育は回復傾向</u>であるため、<u>12月後半の出荷数量及び価格は平年並みに回復</u>する見込み。 	高値水準で推移	平年並みに回復
ピーマン	宮崎(29%) 茨城(28%) 高知(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県、茨城県及び高知県での9月中旬以降の日照不足による樹勢低下からの回復が遅れ、着果数量が減少したため、11月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 11月上旬以降の天候の回復により、<u>生育は回復傾向</u>であるため、<u>12月の出荷数量及び価格は平年並みに回復</u>する見込み。 	平年並みに回復	平年並みで推移
ばれいしょ	北海道(84%) 長崎(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道での6月の長雨や8月の台風に加えて、後続の産地である長崎県での9～10月の長雨による湿害に伴い、肥大が抑制され、<u>小玉傾向</u>となったため、<u>出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準で推移	高値水準で推移
さといも	埼玉(58%) 千葉(21%)	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県及び千葉県での生育が平年並みであるため、<u>出荷数量並びに価格は平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
たまねぎ	北海道(97%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産の在庫数量が平年を上回り、<u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 	安値水準で推移	安値水準で推移

注1：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

注2：各品目の主産地及び東京都中央卸売市場における卸売会社から聞き取りを行った。